

## ご使用方法

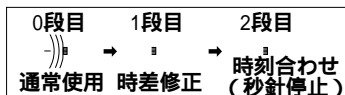
お買い上げの時計は時差修正を行える機能を備えています。時計の分針、秒針を止めずに簡単な操作で時針だけを1時間単位で修正することができます。海外旅行の際などにたいへん便利です。

1. 日付表示のない時計の場合  
日付表示つき時計の場合は7ページをご覧ください。

### 各部の名称



この時計はリュウズを2段階に引き出せます。



時針単独時差修正のしかた、時刻の合わせ方

①



リュウズを1段引き出します。(秒針は動いています)

ネジロックタイプのモデルはリュウズを左に回してネジをゆるめ、リュウズを1段引き出します。

②



時差修正

時差修正はリュウズを右回しにすると時針が正転、左回しにすると逆転し、1時間単位で修正(時針)できます。

③



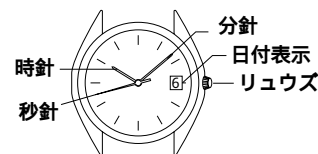
次に、秒針が12時の位置にきたらリュウズを2段目まで引き出します。(秒針は止まります。)

時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

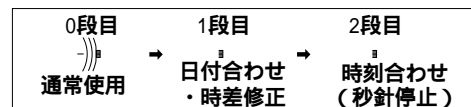
## 2. 日付表示つき時計の場合

日付表示のない時計の場合は4ページをご覧ください。

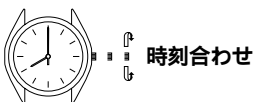
### 各部の名称



この時計はリュウズを2段階に引き出せます。



④



時刻合わせ

リュウズをまわして時刻を合わせてください。  
クォーツ時計の機構上、分針を正しい時刻より一旦4~5分進めてから逆にもどすように合わせてください。

⑤



時報と同時にリュウズを0段目まで押し込んで完了です。  
ネジロックタイプのモデルは修正がすみしたらリュウズを押しつけながら右に止まるところまでネジ込んでください。

## カレンダー連動時差修正のしかた、日付/時刻の合わせ方

①

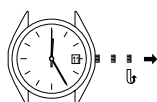


②



時差修正・  
日付合わせ

③



リュウズを1段引き出します。(秒針は動いています)ネジロックタイプのモデルはリュウズを左に回してネジをゆるめ、リュウズを1段引き出します。

時差修正はリュウズを右回しにすると時針が正転、左回しにすると逆転し、1時間単位で修正(時針)できます。日付合わせは正・逆転のどちらかで、合わせたい日の前日の日付にセットしてください。

日付の修正は時針を24時間分まわすと1日変わります。

次に、秒針が12時の位置にきたらリュウズを2段目まで引き出します。(秒針は止まります。)今日の日付になるまでリュウズをまわして針を進めてください。

④



時刻  
合わせ

日付は24時間で1日変わるように設計されていますので、午前/午後を間違えないようにリュウズをまわして時刻を合わせてください。  
クォーツ時計の機構上、分針を正しい時刻より一旦4~5分進めてから逆にもどすように合わせてください。

時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

⑤



時報と同時にリュウズを0段目まで押し込んで完了です。  
ネジロックタイプのモデルは修正がすみしたらリュウズを押しつけながら右に止まるところまでネジ込んでください。

この時計の日付表示は1日~31日まですべてなっています。小の月(2.4.6.9.11月)の場合、翌月の月初に1、2の要領で日付表示の調整をしてください。

この場合の日付表示の調整はリュウズを右に回して時針を正転させて行ってください。

9